

令和8年度 当初予算の概要



令和7年度「水力発電所フォトコンテスト」最優秀賞
『北極星も発電中!』(撮影:山口 克己さん)

令和8年3月
山口県企業局

目次

経営の基本理念

山口県企業局は、地方公営企業としての「公共性」と「経済性」を最大限に発揮するという基本原則の下で、自然の恵みを活かした水力発電によるクリーンエネルギーと産業の血液といわれる豊富かつ良質、低廉な工業用水を安定的に供給し、地域社会の発展と地球環境の保全に貢献します。

I	令和8年度予算編成の基本方針	P 1
II	予算の概要	
	1 電気事業	P 2
	2 工業用水道事業	P 3
III	令和8年度の主要な取組	P 4
IV	重点事業	
	1 電気事業	P 6
	2 工業用水道事業	P13
	3 電気事業・工業用水道事業(共通)	P22

<参考資料>

◆	事業所別重点事業一覧	P23
◆	経営状況の推移	P24



令和 8 年度予算編成の基本方針

企業局の現状

山口県企業局は、地方公営企業としての「公共性」と「経済性」を最大限に発揮するという基本原則の下で、水資源を開発して有効に利用することにより、県産業の発展と県民の福祉の増進を図るため、13の水力発電所及び15の工業用水道を設置し、地域社会の発展と地球環境の保全に貢献しているところです。

今後もその役割を果たしていくため、電気事業では、クリーンエネルギーを安定的・継続的に供給するとともに、電力システム改革など経営環境の変化に的確に対応し、安定した経営基盤を維持していくことが必要です。

また、工業用水道事業では、企業ニーズや社会・経済環境の変化などに的確に対応し、工業用水を安定供給するとともに、需要開拓の取組により、未契約水の解消を進め、低廉な料金水準と新規契約の好循環を生み出していく必要があります。

令和 8 年度予算編成の基本方針

「第 4 次経営計画(改定版)」を踏まえ、目指すべき将来像の実現のため、計画に掲げる 4 つの基本方針を柱に、施設の老朽化、国のエネルギー政策やデジタル化の進展など、企業局を取り巻く経営環境の変化にも的確に対応し、計画的かつ効果的な施策の推進を図り、電気・工業用水の安定供給を確保します。



II 予算の概要

地方公営企業会計の予算は、「収益的収支」と「資本的収支」に区分されています。

1 電気事業

① 収益的収支予算（事業の管理や運営に関する収支）

（単位:千円）

項目	R 8 当初	R 7 当初	増 減	説 明
営業収益	2,433,209	2,558,302	▲125,093	電力料収入
財務収益	20,462	8,253	12,209	受取利息
その他	65,809	41,930	23,879	
収益的収入 (a)	2,519,480	2,608,485	▲89,005	
営業費用	2,259,666	2,390,702	▲131,036	人件費、修繕費、減価償却費等
財務費用	1	116	▲115	支払利息
その他	96,178	91,255	4,923	
収益的支出 (b)	2,355,845	2,482,073	▲126,228	
収支差引 (a-b)	163,635	126,412	37,223	
消費税資本的収支調整額	109,533	34,852	74,681	
純利益	54,102	91,560	▲37,458	

② 資本的収支予算（施設の建設や改良などに関する収支）

（単位:千円）

項目	R 8 当初	R 7 当初	増 減	説 明
企業債	0	0	0	
資本剰余金	89,092	15,911	73,181	国庫補助金
その他	14,502	1,800	12,702	共同施設受託金等
資本的収入 (a)	103,594	17,711	85,883	
建設費	0	0	0	
改良費	1,223,458	385,249	838,209	改良事業等
償還金	2,073	11,482	▲9,409	企業債償還金
その他	3,101	3,101	0	
資本的支出 (b)	1,228,632	399,832	828,800	
収支差引 (a-b)	▲1,125,038	▲382,121	▲742,917	

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は内部留保資金で補てんします。

■年間総販売電力量：約1億4千5百万kWhを予定

※標準的家庭の4万世帯超の年間使用量に相当

2 工業用水道事業

① 収益的収支予算 (事業の管理や運営に関する収支)

(単位:千円)

項目	R 8当初	R 7当初	増減	説明
営業収益	6,761,761	6,807,322	▲45,561	工水料金収入
営業外収益	783,401	637,874	145,527	長期前受金 戻入等
その他	3	3	0	
収益的収入 (a)	7,545,165	7,445,199	99,966	
営業費用	6,602,434	6,412,220	190,214	人件費、修繕費、 減価償却費等
営業外費用	185,723	159,807	25,916	支払利息等
その他	10,003	10,003	0	
収益的支出 (b)	6,798,160	6,582,030	216,130	
収支差引 (a-b)	747,005	863,169	▲116,164	
消費税資本的収支 調整額	569,837	463,707	106,130	
純利益	177,168	399,462	▲222,294	

② 資本的収支予算 (施設の建設や改良などに関する収支)

(単位:千円)

項目	R 8当初	R 7当初	増減	説明
企業債	1,370,000	1,570,000	▲200,000	
資本剰余金	243,666	283,066	▲39,400	国庫補助金
その他	126,832	237,676	▲110,844	共同施設 受託金等
資本的収入 (a)	1,740,498	2,090,742	▲350,244	
建設費	0	0	0	
改良費	6,458,208	5,401,470	1,056,738	改良事業等
償還金	1,077,720	1,122,442	▲44,722	企業債償還金
その他	12,544	41,322	▲28,778	
資本的支出 (b)	7,548,472	6,565,234	983,238	
収支差引 (a-b)	▲5,807,974	▲4,474,492	▲1,333,482	

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は内部留保資金で補てんします。

■年間契約水量：約5億6千8百万m³で、県下約80ユーザーに供給する予定

※1日当たり約156万m³

III 令和8年度の主要な取組

4つの経営の基本方針に基づき、老朽化対策や渇水対策等の取組を重点的に進めます。

安定供給体制の強化

■ 老朽化対策

(1) 発電施設

■ 水力発電所整備基本方針の策定 (1,109千円) 【P7】

- ・ 発電所の優先度や管理水準を踏まえた整備基本方針の策定

■ 発電所のリパワリング、オーバーホール等

(2) 工業用水道施設

■ AI等を活用した管路更新計画の策定 (60,000千円) 【P14】

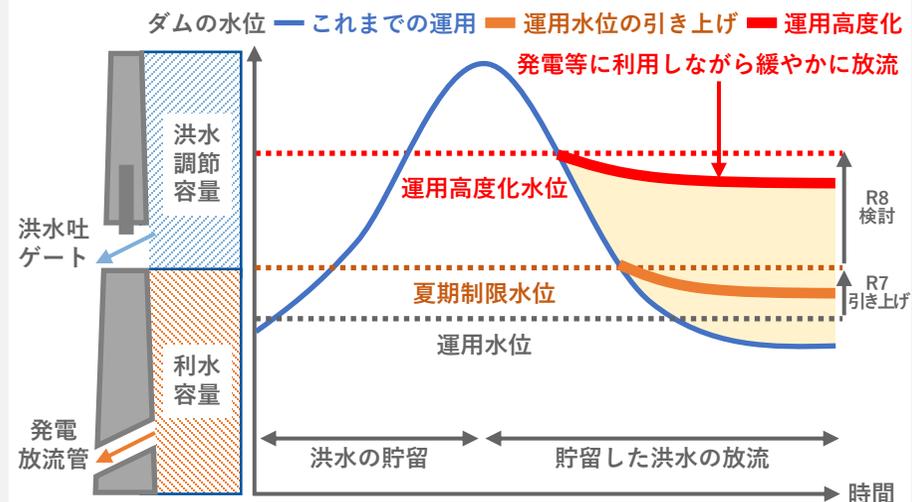
- ・ AI等を活用した管路健全度評価

■ 老朽化対策、施設の強靱化、バックアップ機能の強化、広域化の推進

■ 渇水対策

■ 錦川水系ダム運用高度化検討事業 (50,000千円) 【P10】

・ 菅野ダムにおける運用高度化の試行・検証



安定経営の確保

■ 民間活力の導入検討

【継】民間活力導入検討事業（35,000千円 ※R8～R9債務負担行為）【P21】

- ・ 監視制御システムにおける民間活力導入可能性調査

■ 新規需要開拓（185,000千円）【P19～P21】

【継】初期設備投資への支援

- ・ 工水引込管設置支援事業
- ・ 工水受水設備設置支援事業
- ・ 水処理設備等設置支援事業

【継】新規需要開拓に向けた取組の推進、受水需要に応じた施設整備



地域・環境への貢献

【拡】「やまぐちぶちエコでんき®」による再生可能エネルギーの利用拡大（6,671千円）【P12】

- ・ 加入促進に向けた取組の推進



組織力の向上

【継】業務に必要な資格取得の促進、研修の充実

【継】非常時を想定した対応訓練の実施

IV 重点事業

1 電気事業

安定供給体制の強化

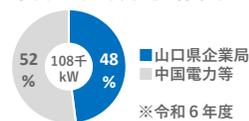
- ・水力発電所整備基本方針の策定 P 7
- ・新阿武川発電所リパワリング推進事業 P 8
- ・佐波川発電所リニューアル事業 P 8
- ・徳山発電所水車発電機オーバーホール事業 P 9
- ・末武川発電所水車発電機オーバーホール事業 P 9
- ・木屋川発電所水車発電機改修事業 P 9
- ・新阿武川発電所水車発電機改修事業 P 9
- ・錦川水系ダム運用高度化検討事業 P10
- ・小水力発電開発促進支援事業 P11
- ・水力発電魅力発見事業 P11



山口県の
水力発電

県内の水力発電所で発生する電気の約半数は、山口県企業局の水力発電所が作っています。水力発電は、運転コストが安く、安定的に発電することが出来る電源として、重要な役割を担っています。

県内の水力発電所出力



地域・環境への貢献

- ・小水力発電開発促進支援事業【再掲】 P11
- ・「やまぐちぶちエコでんき®」による
再生可能エネルギーの利用拡大 ... P12
- ・水源林整備推進事業 P22
- ・水を守る森林づくり推進事業 P22



◀平瀬発電所▶



◀水力発電所 施設見学の様子▶

水力発電所整備基本方針の策定

予算額

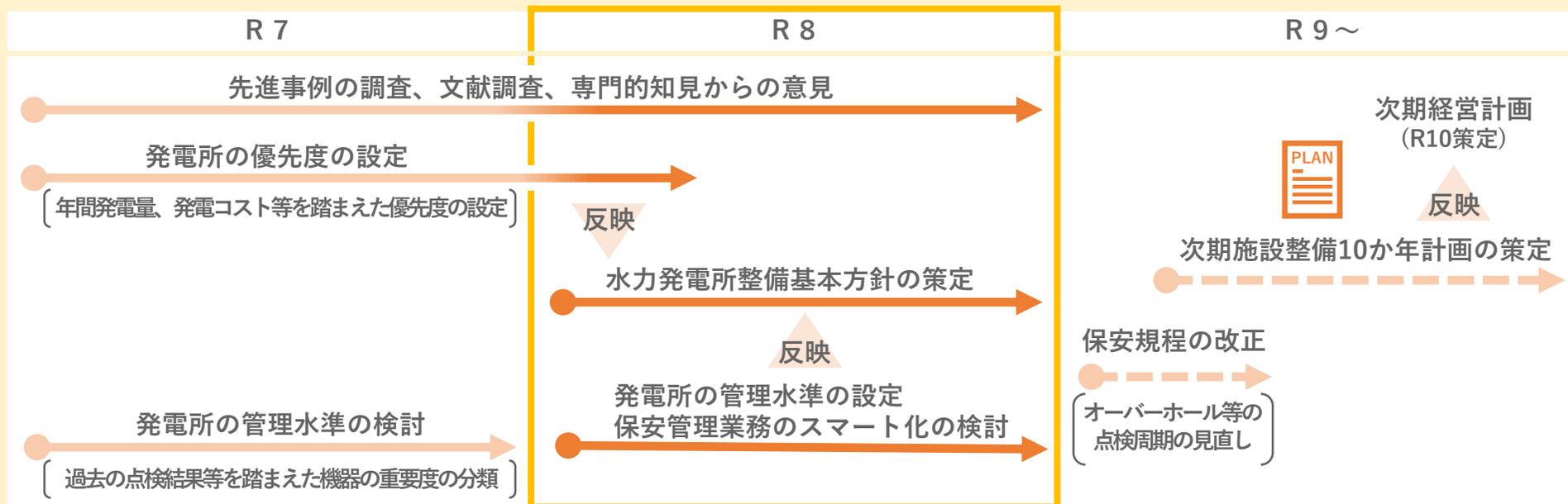
1,109千円

POINT

収益性や重要度に応じて、優先的に整備する発電所を設定するとともに、優先度に応じた整備基本方針を策定し、長期的な経営基盤の安定と施設の健全性の両立を図ります。

- ◇ 発電所の優先度や過去の点検結果等を基に設定する新たな管理水準を踏まえ、水力発電所整備基本方針を策定
- ◇ デジタル技術を活用した保安管理業務のスマート化の検討

【事業計画】



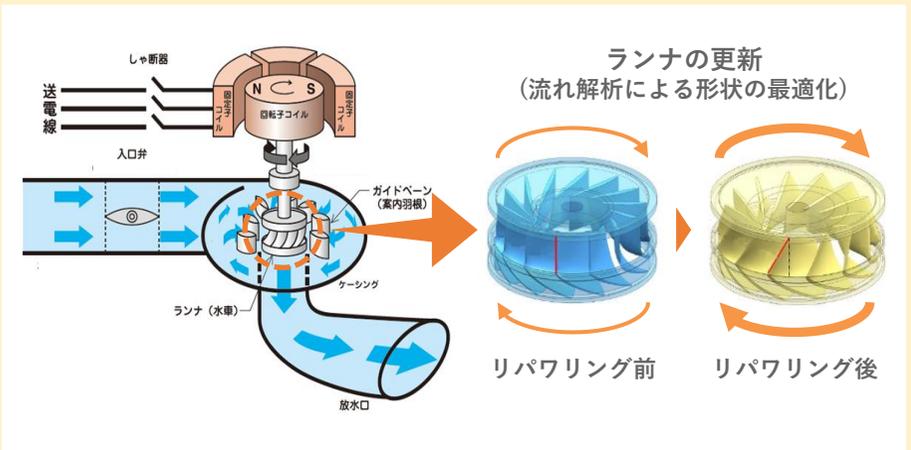
電気事業 安定供給体制の強化

新阿武川発電所 リパワリング推進事業	予算額	債務 負担 行為	限度額	800,000千円
	392,000千円		期 間	令和7年度 ～令和10年度

POINT

水車ランナの改造等により発電出力及び発電量の向上を図ります。

- ◇ 実施発電所
新阿武川発電所(最大出力19,500kW)
- ◇ 事業内容
水車ランナ製作、ガイドベーン製作
▶ より効率的な発電を行うことができる水車ランナ・ガイドベーンの製作を行い、発電力を向上



《リパワリングのイメージ》

佐波川発電所リニューアル事業	債務 負担 行為	限度額	2,500,000千円
	期 間	令和8年度 ～令和12年度	

POINT

老朽化が進む発電所の設備更新を行います。

- ◇ 実施発電所
佐波川発電所(最大出力3,500kW)
- ◇ 事業内容
電気機械設備の設計(水車発電機、配電盤開閉装置、屋外変電設備等)



《佐波川発電所 施設の現況》

電気事業 安定供給体制の強化

徳山発電所 水車発電機オーバーホール事業	予算額	債務 負担 行為	限度額	800,000千円
	722,017千円		期 間	令和5年度 ～令和8年度

POINT

保安規程に基づく分解点検整備(オーバーホール)を行います。

- ◇ 実施発電所
徳山発電所(最大出力6,500kW)
- ◇ 事業内容
・ 分解点検整備



《徳山発電所 水車発電機》

末武川発電所 水車発電機オーバーホール事業	債務 負担 行為	限度額	450,000千円
	期 間	令和7年度 ～令和9年度	

POINT

保安規程に基づく分解点検整備を行います。

- ◇ 実施発電所
末武川発電所(最大出力1,600kW)
- ◇ 事業内容
・ 分解点検整備



《末武川発電所 水車発電機》

木屋川発電所 水車発電機改修事業	予算額	債務 負担 行為	限度額	660,000千円
	70,106千円		期 間	令和6年度 ～令和8年度

POINT

保安規程に基づく分解点検整備及び設備更新を行います。

- ◇ 実施発電所
木屋川発電所(最大出力1,850kW)
- ◇ 事業内容
・ 分解点検整備
・ 設備更新(固定子コイル、単独運転防止装置設置等)



《木屋川発電所 水車発電機》

新阿武川発電所 水車発電機改修事業	予算額	債務 負担 行為	限度額	1,650,000千円
	66,000千円		期 間	令和6年度 ～令和10年度

POINT

保安規程に基づく分解点検整備及び設備更新を行います。

- ◇ 実施発電所
新阿武川発電所(最大出力19,500kW)
- ◇ 事業内容
・ 分解点検整備
・ 設備更新(発電機制御装置、並列用遮断器等)



《新阿武川発電所 水車発電機》

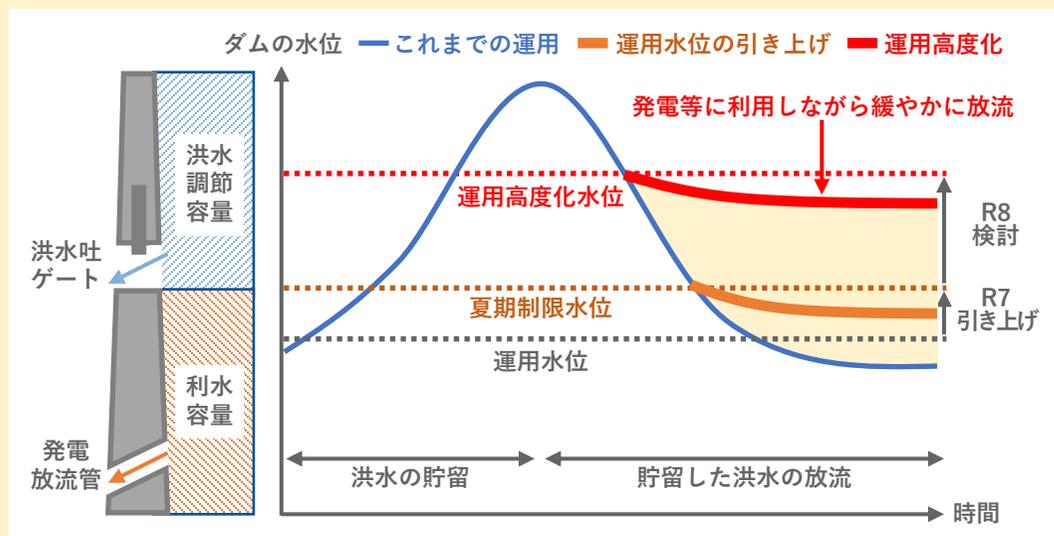
錦川水系ダム運用高度化検討事業

予算額	債務負担行為	限度額	80,000千円
50,000千円		期間	令和6年度 ～令和8年度

POINT

洪水調節容量に一時的に貯留した流水を、最新の気象予測技術を活用して緩やかに放流し、発電や工業用水などに利用することで水資源を有効活用しながら、発電量の増加や渇水対策の強化を図ります。

錦川水系の過去の水文データ(雨量、水位、流量等)及び予測雨量データ等を基に菅野ダムの運用高度化の試行・検証を実施



《ダム運用高度化のイメージ》

【事業計画】



小水力発電開発促進支援事業

予算額
17,534千円

POINT

小水力発電の開発促進のため、地域の主体的な取組を支援します。

◇ 技術支援

市町や公共的団体、地域で組織された法人等に対し、小水力発電開発に向けた技術支援を実施

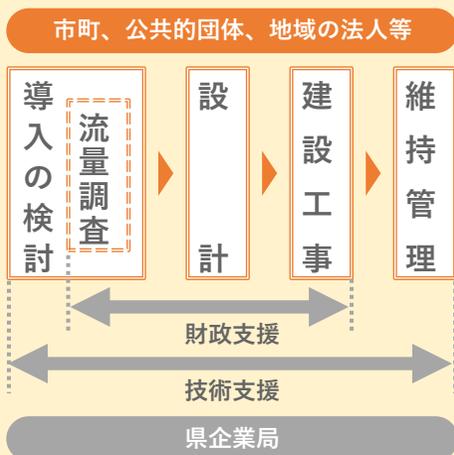
◇ 財政支援

地域で組織された法人等が採算性を見込める小水力発電(最大出力20kW未満)に取組む場合、流量調査、設計、発電施設の整備に対してモデル的に財政支援を実施

【補助制度の概要】

区分	補助率	補助限度額
流量調査	10/10	2,000千円
設計	10/10	5,000千円
発電施設整備	10/10	10,000千円

【支援のイメージ】



水力発電魅力発見事業

予算額
4,000千円

POINT

水力発電の仕組みや役割を学ぶイベントの開催等を通じて、水力発電に関する県民・企業の理解促進を図ります。

◇ 水の流れをたどるツアー

小学生とその保護者を対象に、水力発電の仕組みやその後の水の活用方法等を学ぶ体験イベントを開催

◇ 出前授業やフォトコンテストの開催、発電所カードの配布等



《小学生向けの体験イベント》



《高校生向けの出前授業》



《発電所カード》

【拡】「やまぐちぶちエコでんき[®]」による再生可能エネルギーの利用拡大

(登録商標第6838306号)

予算額

6,671千円

※一般会計繰出金を含む

POINT

企業局の水力発電による電気を、県産のCO₂フリー電気として付加価値をつけて供給することを通じて、県内企業のCO₂削減の取組を後押しするとともに、再生可能エネルギーの利用拡大に向けた意識の向上を図ります。

◇ やまぐちぶちエコでんき[®]の概要

対象	県内に事業所を置く、または置こうとする法人・個人事業主等
特徴等	<ul style="list-style-type: none"> 使用する電気の再エネ比率を指定可能(経営ニーズに柔軟に対応) 料金収入の一部は、水力発電所の供給力向上のための取組や、知事部局の県内企業の再生可能エネルギーの利用拡大に向けた取組(※一般会計繰出)に活用



【拡】加入促進に向けた取組 (3,671千円)

主要な交通拠点でのPR動画の放映等

▶ PR動画の放映箇所を拡大

放映箇所：山口宇部空港、岩国錦帯橋空港、新山口駅、徳山駅(予定)



《山口宇部空港》



《岩国錦帯橋空港》

◆ 知事部局と連携した取組 (3,000千円 ※一般会計繰出金)

企業等における脱炭素化等の取組促進

【事業内容】 ※知事部局

- 省・創・蓄エネの導入促進事業(環境生活部)
 - ・やまぐち再エネ電力利用事業所の認定等
- やまぐち中小企業脱炭素化促進支援事業(産業労働部)
 - ・脱炭素に関する普及啓発・横展開セミナーの開催等

IV 重点事業

2 工業用水道事業

安定供給体制の強化

- ・ AI等を活用した管路更新計画の策定 P14
- ・ 老朽化対策
 - 管路等の老朽化対策、電気計装設備の更新 P15
- ・ 施設の強靱化
 - 耐震化、浸水対策、停電対策 P16
- ・ バックアップ機能の強化 P17
- ・ 広域化の推進 P18



《試掘調査の状況》

安定経営の確保

- ・ 工業用水の需要開拓に向けた取組の推進 P19
- ・ 工業用水の利用拡大に向けた設備投資支援 P20
- ・ 受水需要に応じた施設整備 P21
- ・ 民間活力導入検討事業 P21

地域・環境への貢献

- ・ 水源林整備推進事業【再掲】 P22
- ・ 水を守る森林づくり推進事業【再掲】 P22

山口県の 山口県企業局は、全国 給水能力 良質な 低廉な 充実した
 工業用水 1位の給水規模となる 用水を送水しています。 全国1位 原水 価格 支援制度

【拡】 AI等を活用した管路更新計画の策定

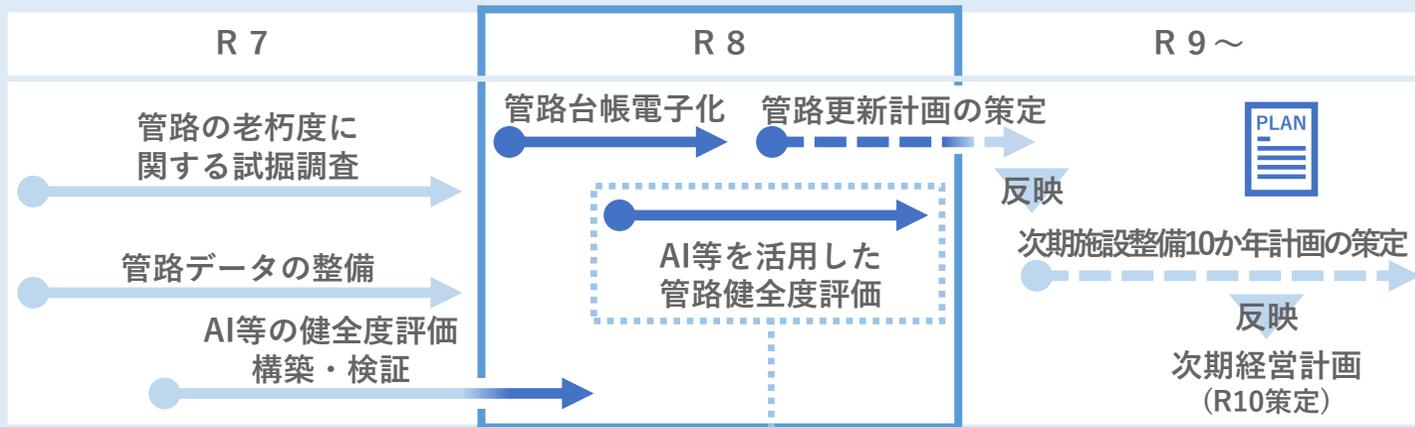
予算額

60,000千円

POINT

今後急激な管路の老朽化の進行が懸念されることから、試掘調査結果等に基づき、AI等を活用した管路の健全度解析による評価を実施し、管路更新の優先順位付けを行い、新たなアセットマネジメント指針に基づく管路更新計画を策定します。

【事業計画】



《試掘調査の状況》

【新】老朽度評価(AIシステム)

基礎データ (県独自データ)

- ・管路台帳データ
- ・漏水事故データ
- ・試掘調査データ等

ビックデータ

- ・地理情報データ
- ・知見(腐食調査)データ

水理面評価

- ・流量、水圧、流速、動水勾配等

耐震性評価

- ・地震被害率(件/km)算出

【新】事故影響度評価

- ・ライフライン施設への影響等

【新】総合評価

AIシステム

- ・管路のグルーピング
- ・更新優先順位

老朽化対策

予算額 ※

5,706,718千円

※他項目との重複を含む

POINT

施設の多くが建設から40年以上経過していることから、現行施設整備10か年計画に基づき、施設の健全性確保に向けた計画的・重点的な整備を行います。

◆ 管路等の老朽化対策(3,209,300千円)

◇ 主な工事等

【小瀬川工業用水道事業】

- ・ 吸水井補強工事 ※重複(強)

【周南工業用水道事業】

- ・ 菅野4号線配水管改良工事 ※重複(強・バ)
- ・ 菅野7号線配水管改良工事 ※重複(強・バ)
- ・ 水管橋改良工事に伴う設計業務 ※重複(強)



【周南工業用水道事業】
◀ 管路の老朽化状況 ▶

【佐波川工業用水道事業】

- ・ 本取水口導水管改良等に伴う詳細設計業務 ※重複(強・バ・広)
- ・ 1期系管路(田島地区)改良工事 ※重複(強・バ・広)
- ・ 1期系水管橋改良工事

【厚東川工業用水道事業】

- ・ 厚東川水路橋改築工事 ※更新(強)
- ・ 1号ほか水路橋改築工事 ※重複(強)



【厚東川工業用水道事業】
◀ 水路橋の現況 ▶

【厚狭川工業用水道事業】

- ・ 山陽ルート管更生工事 ※重複(強・バ・広)

【木屋川、木屋川2期工業用水道事業】

- ・ 木屋川工業用水道二条化改良工事 ※重複(強・バ)

◆ 電気計装設備の更新(2,497,418千円)

◇ 主な工事等

【小瀬川工業用水道事業】

- ・ ポンプ棟改修及び浸水対策工事 ※重複(強)
- ・ 無停電電源設備改良工事 ※重複(強)

【周南、富田・夜市川工業用水道事業】

- ・ 川本接合井ほか制御装置取替工事

【周南工業用水道事業】

- ・ 電食防止装置取替工事
- ・ 間上逆調整池水位計取替工事



【富田・夜市川工業用水道事業】
◀ 制御装置の現況 ▶

【佐波川2期工業用水道事業】

- ・ 迫戸ポンプ場電磁流量計取替工事

【厚東川工業用水道事業】

- ・ 美祢送水ポンプ場リプレース工事



【木屋川2期工業用水道事業】
◀ 放流警報装置制御用端末の現況 ▶

【木屋川2期工業用水道事業】

- ・ 放流警報装置制御用端末取替工事

【凡例】

老：老朽化対策 強：施設の強靱化 バ：バックアップ機能の強化 広：広域化の推進

施設の強靱化

予算額 ※
3,210,832千円

※他項目との重複を含む

POINT

自然災害の激甚化や頻発化に伴い、給水停止リスクが増加していることから、自然災害の発生時においても施設の被害を最小限にとどめ、給水が継続できるよう、工業用水道施設の耐震化や浸水対策、停電対策等による施設の強靱化を推進します。

◆ 耐震化(3,027,300千円)

地震時においても給水が継続できるよう、耐震性能の低い水路橋等の補強、バイパス管の整備や管の更新にあわせた耐震化を推進

◇ 主な工事等

《 管路 》

【小瀬川工業用水道事業】

- ・ 吸水井補強工事 ※重複(老)

【佐波川工業用水道事業】

- ・ 1期系管路(田島地区)改良工事 ※重複(老・バ・広) 【小瀬川工業用水道事業】
 << 吸水井の耐震化状況 >>

【厚東川2期工業用水道事業】

- ・ 2期ルートバイパス管布設工事 ※重複(老・バ・広)

【厚狭川工業用水道事業】

- ・ 山陽ルート管更生工事 ※重複(老・バ・広)

【木屋川、木屋川2期工業用水道事業】

- ・ 木屋川工業用水道事業二条化改良工事 ※重複(老・バ)

《 水路橋・水管橋 》

【周南工業用水道事業】

- ・ 水管橋改良工事に伴う設計業務 ※重複(老)

【厚東川工業用水道事業】

- ・ 1号ほか水路橋改築工事 ※重複(老)

【木屋川工業用水道事業】

- ・ 第1号ほか水路橋耐震補強工事 ※重複(老)



【周南工業用水道事業】
 << 水管橋の現況 >>

◆ 浸水対策(129,663千円)

豪雨時においても給水が継続できるよう、防水壁・防水扉の設置等を行い、設備の浸水を防止

◇ 主な工事等

【小瀬川工業用水道事業】

- ・ ポンプ棟改修及び浸水対策工事 ※重複(老)

【佐波川工業用水道事業】

- ・ 古祖原ポンプ場ポンプ棟新築工事实施設計業務 ※重複(老・バ・広)



【小瀬川工業用水道事業】
 << ポンプ棟の現況 >>

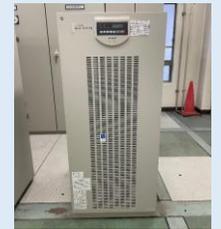
◆ 停電対策(53,869千円)

停電時においても給水が継続できるよう、設備の非常電源を確保

◇ 主な工事等

【小瀬川工業用水道事業】

- ・ 無停電電源設備改良工事 ※重複(老)



【小瀬川工業用水道事業】
 << 無停電電源設備の現況 >>

【凡例】

老：老朽化対策 強：施設の強靱化 バ：バックアップ機能の強化 広：広域化の推進

バックアップ機能の強化

予算額※
1,305,600千円

※他項目との重複を含む

POINT

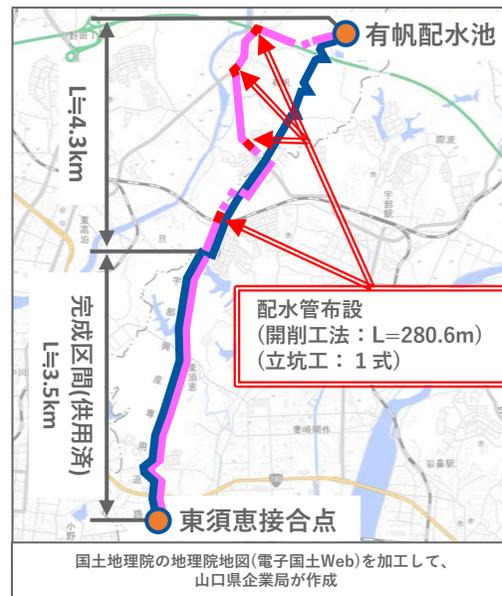
大規模な自然災害により施設が損壊した場合でも給水を継続する必要があることから、管路の**ループ化、二条化**によるバックアップ機能を強化します。あわせて、管路の耐震性の確保を図ります。



【木屋川工業用水道事業】
※重複(老・強・広)
《木屋川工業用水道二条化改良工事 概要図》



《推進工の状況》



【厚東川2期工業用水道事業】
※重複(老・強・広)
《2期ルートバイパス管布設工事 概要図》



《開削工の状況》

【凡例】

老：老朽化対策 強：施設の強靱化 バ：バックアップ機能の強化 広：広域化の推進

広域化の推進

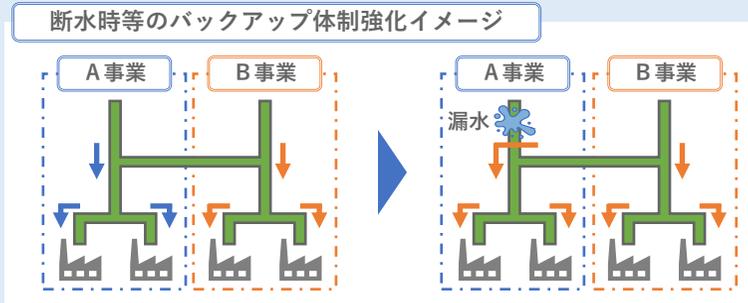
予算額※
610,000千円

※他項目との重複を含む

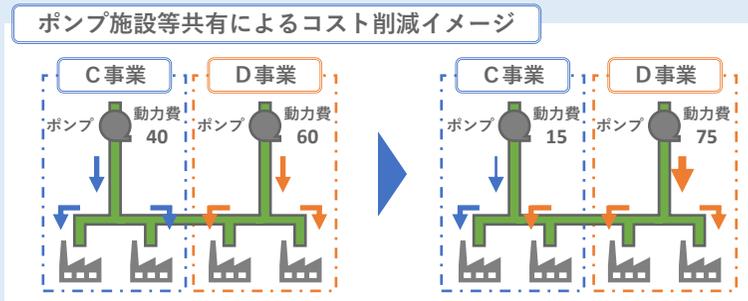
POINT

ハード対策として事業間における管路のループ化等のバックアップ体制の強化に資する整備を実施するとともに、ソフト対策として、複数事業の施設・設備の共用等によるコスト削減や安定供給体制の強化に繋がる運用を実施します。

◇ 漏水等により管路が被災した際に、**事業間で工業用水を融通し、地域全体の安定給水力を向上**



◇ 事業毎に運用しているポンプの稼働調整を行い、**地区全体での一体運用など効率的に運用し、動力費等を削減**



【凡例】

老：老朽化対策 強：施設の強靱化 バ：バックアップ機能の強化 広：広域化の推進



【佐波川工業用水道事業】

※重複(老・強・バ)

《1期系管路(田島地区)改良工事 概要図》



【周南工業用水道事業】

【富田・夜市川工業用水道事業】

※重複(老・強・バ)

《管野7号線改良工事に伴う測量設計業務概要図》



《推進工の状況》

工業用水の需要開拓に向けた取組の推進

予算額

35,000千円

※一般会計繰出金を含む

POINT

企業立地部局と連携しながら、用水型企業の誘致に向けたPR活動を実施します。

- ◆ 工業用水需要開拓強化事業 (5,000千円)
企業立地部局と連携しながら、新規需要開拓の取組を展開

◇ 新規需要開拓

- ・ 既受水企業の関連企業の工業用水ニーズ調査
- ・ 世界的な市場拡大が見込まれる半導体・蓄電池分野等に着目
 - ▶ 関連企業へのニーズ調査を実施するとともに、企業立地部局と連携して誘致活動を実施

◇ 企業立地部局との連携

- ・ 企業立地フォーラム等での本県工業用水の情報発信
- ・ 用水型企业等への合同訪問

◇ 情報発信

- ・ リスティング広告等を活用したPR



《リスティング広告》



- ◆ 企業立地推進強化事業 (30,000千円 ※一般会計繰出金)
企業立地フォーラムの開催等による戦略的な企業誘致活動を展開

【事業内容】 ※産業労働部

- 知事によるトップセールス
 - ・ 大都市圏での企業立地フォーラム開催等



企業立地フォーラム



- 立地環境と優遇制度のPR強化
 - ・ Web上でのプロモーション展開等
- 県外用水型企业等へのアプローチ
 - ・ 県外用水型企业に対する戦略的な企業折衝

工業用水の利用拡大に向けた設備投資支援

予算額

95,000千円

POINT

工業用水の導入や拡大利用に伴う初期設備投資への支援を行います。

◆ 工水引込管設置支援事業 (50,000千円)

[支援対象] 新規受水または契約水量を増加する企業
[県企業局施工分]

対象経費	県企業局が施工する県配水管から量水器までの工事等に係る経費						
支援額	契約水量(m) × 事業別負担限度額(円/m) ※下表参照 ※1ユーザーあたり5,000万円が上限 (単位:円/m)						
地区	柳井	周南	防府	宇部	山陽小野田	美祢	下関
負担限度額	49,000円	14,000円	49,000円	31,000円	35,000円	35,000円	28,800円

[卸供給分]

同一給水エリアでの支援のアンバランスの是正を図るため、県と同様の制度を設ける市(下関市：県が卸供給)について、その補助額の一部を助成

補助対象	市工水引込管設置支援制度において支援決定を受けた事業
補助額	市補助額の1/2または県が施工した場合の支援額のいずれか低い金額

◆ 工水受水設備設置支援事業 (15,000千円)

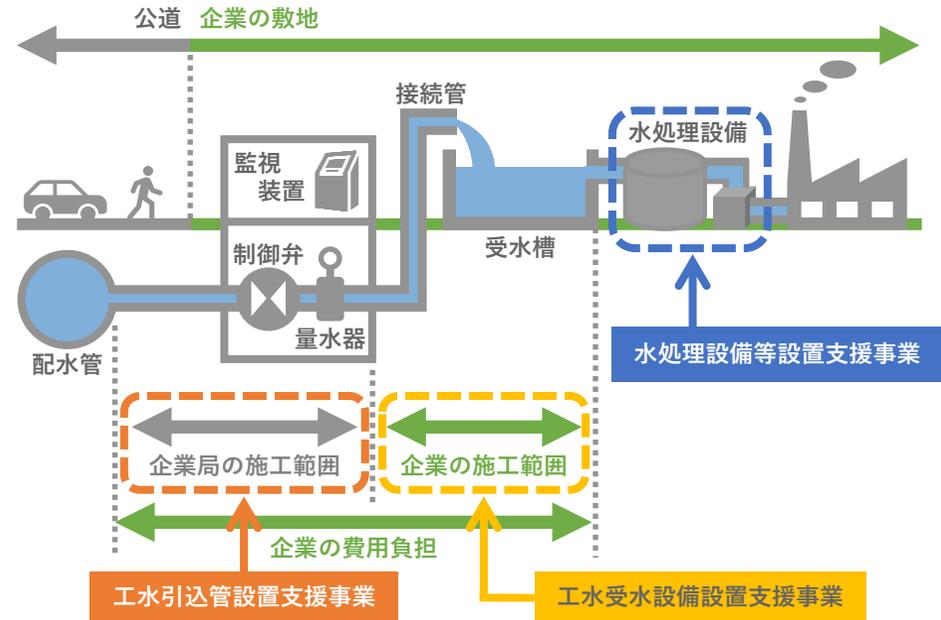
[支援対象] 新規受水または契約水量を増加する企業

対象経費	受水企業が施工する受水設備(受水槽及び接続管)の設置に要する経費						
支援額	契約水量(m) × 補助単価(円) ※下表参照 または 受水設備設置費用の2分の1 のいずれか低い金額 ※1ユーザーあたり1,500万円が上限 (単位:円/m)						
地区	柳井	周南	防府	宇部	山陽小野田	美祢	下関
補助単価	16,000円	4,000円	16,000円	10,000円	11,000円	11,000円	9,600円

◆ 水処理設備等設置支援事業 (30,000千円)

[支援対象] 新規受水または契約水量を増加する企業

対象経費	受水企業が新規導入する水処理(浄水)設備の設置に要する経費
支援額	水処理設備設置費用の3分の1 ※限度額 100~500m ³ /日以下 : 20,000千円 500m ³ /日を超える場合 : 30,000千円



受水需要に応じた施設整備

予算額
55,000千円

POINT

企業の新工場建設等に伴い、給水に必要な量水設備の整備を行います。

給水量の制御・監視に必要な量水設備を設置

◆ 周南工業用水道事業 (10,000千円)

- ・ 菅野系量水設備設置工事

債務負担行為の期間：令和8年度～令和9年度

◆ 木屋川、木屋川2期工業用水道事業 (45,000千円)

- ・ 長府港町量水設備設置工事

債務負担行為の期間：令和6年度～令和8年度

民間活力導入検討事業

債務負担行為	限度額	35,000千円
	期間	令和8年度～令和9年度

POINT

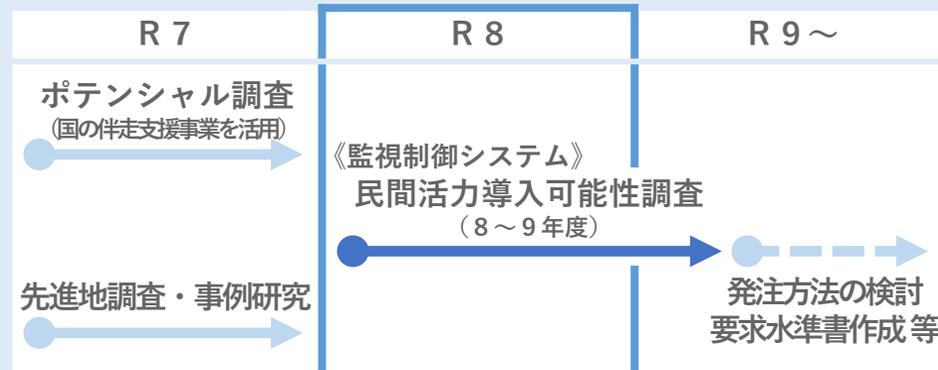
老朽化した施設の更新、業務の効率化、事業の最適化などの課題の解決策として、民間活力導入についての検討を行います。

令和7年度に実施したポテンシャル調査等を踏まえ、監視制御システムの更新・保守への民間活力の導入の可能性を検討

◆ 監視制御システムにおける民間活力導入可能性調査

複数の事業所のシステムの統合や標準化を検討するとともに、設計・構築・保守管理までを一括委託するDBM方式など効率的かつ経済的な整備手法を検討

【事業計画】



水源林整備推進事業	予算額 ※
	25,876千円 (電気：6,362千円 工水：19,514千円)

※一般会計繰出金

POINT

森林が持つ水源涵養機能の維持・増進を目的に、水源ダム上流部等における間伐・再造林事業を支援します。

【事業内容】 ※農林水産部

14箇所 計489ha (間伐：416ha、再造林：73ha)

(参考：令和7年度実績)

12箇所 計417ha (間伐：305ha、再造林：112ha)



《水源林整備 活動の様子》

水を守る森林づくり推進事業	予算額 ※
	2,366千円 (電気：789千円 工水：1,577千円)

※一般会計繰出金

POINT

森林が持つ水源涵養機能についての理解醸成を図るため、利水企業等と共同で、水源ダム上流部等での森林づくり活動に取り組みます。

【事業内容】 ※農林水産部

5地区 (除伐、植栽活動等)

(参考：令和7年度実績)

5地区

参加企業数：59社、参加者数：292人 ※企業からの参加者数



《水を守る森林づくり 活動の様子》

《参考資料》 事業所別重点事業一覧

【凡例】

電気事業

工業用水道事業

【西部利水事務所】

- ・木屋川発電所水車発電機改修工事
- ・新阿武川発電所水車発電機改修工事
- ・新阿武川発電所水車ランナ・ガイドベーン製作工事

- ・木屋川工業用水道二条化改良工事
- ・放流警報装置制御用端末取替工事
- ・第1号ほか水路橋耐震補強工事
- ・長府港町量水設備設置工事

【小瀬川工業用水道事務所】

- ・吸水井補強工事
- ・ポンプ棟改修及び浸水対策工事
- ・無停電電源設備改良工事

【東部発電事務所】

- ・佐波川発電所リニューアル工事
- ・徳山発電所水車発電機オーバーホール工事
- ・末武川発電所水車発電機オーバーホール工事

【厚東川工業用水道事務所】

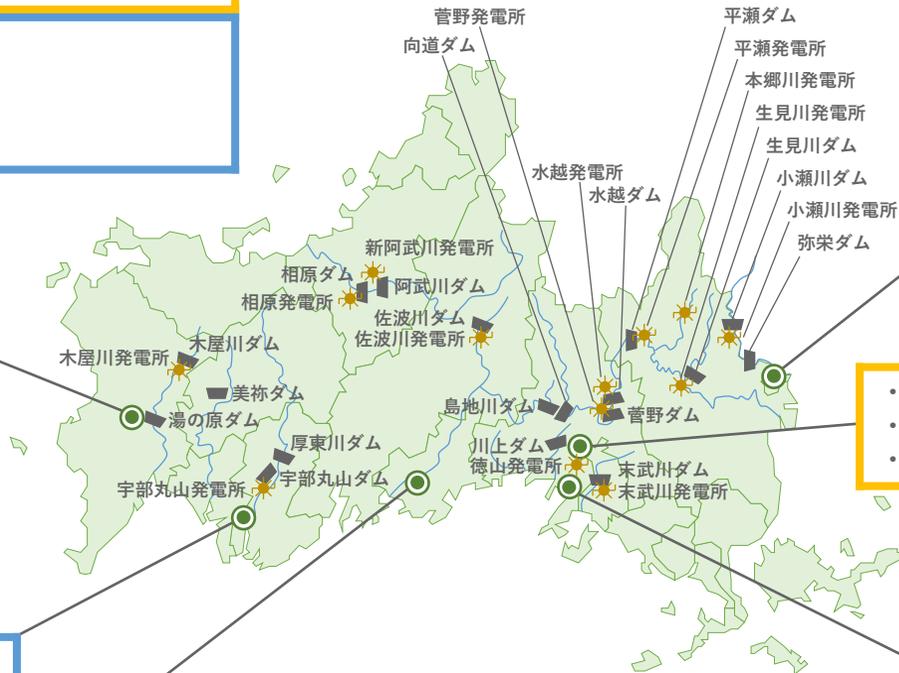
- ・厚東川水路橋改築工事
- ・1号ほか水路橋改築工事
- ・山陽ルート管更生工事
- ・美祢送水ポンプ場リプレース工事
- ・2期ルートバイパス管布設工事

【佐波川工業用水道事務所】

- ・本取水口導入管改良等に伴う詳細設計業務
- ・1期系管路(田島地区)改良工事
- ・1期系水管橋改良工事
- ・迫戸ポンプ場電磁流量計取替工事
- ・古祖原ポンプ場ポンプ棟新築工事実施設計業務

【周南工業用水道事務所】

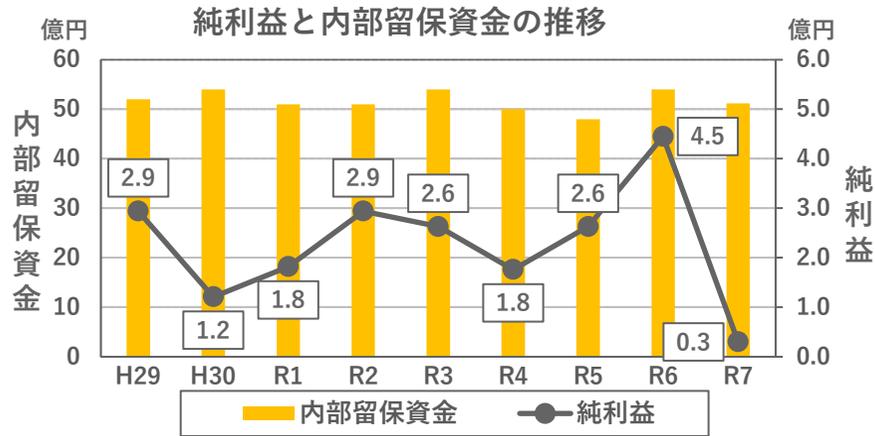
- ・菅野4号線配水管改良工事
- ・菅野7号線配水管改良工事
- ・菅野7号線改良工事に伴う測量設計業務
- ・水管橋改良工事に伴う設計業務
- ・川本接合井ほか制御装置取替工事
- ・電食防止装置取替工事
- ・間上逆調整池水位計取替工事
- ・菅野系量水設備設置工事



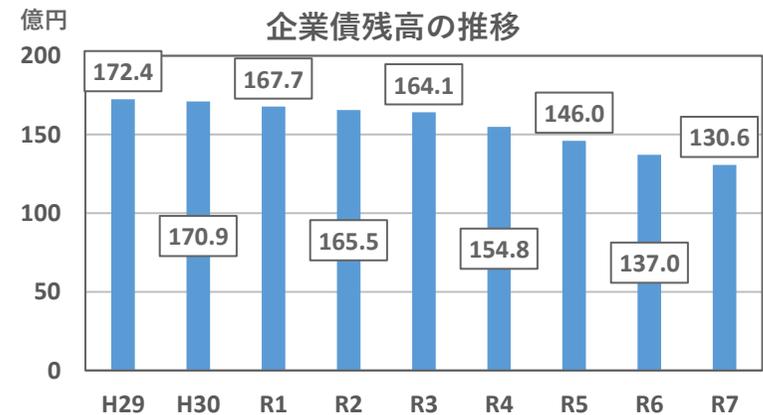
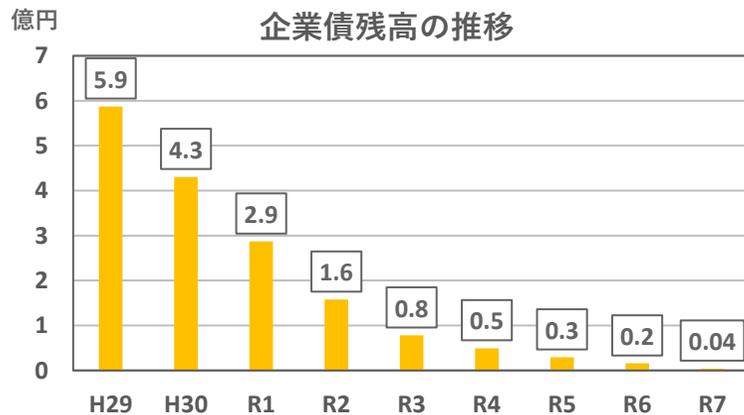
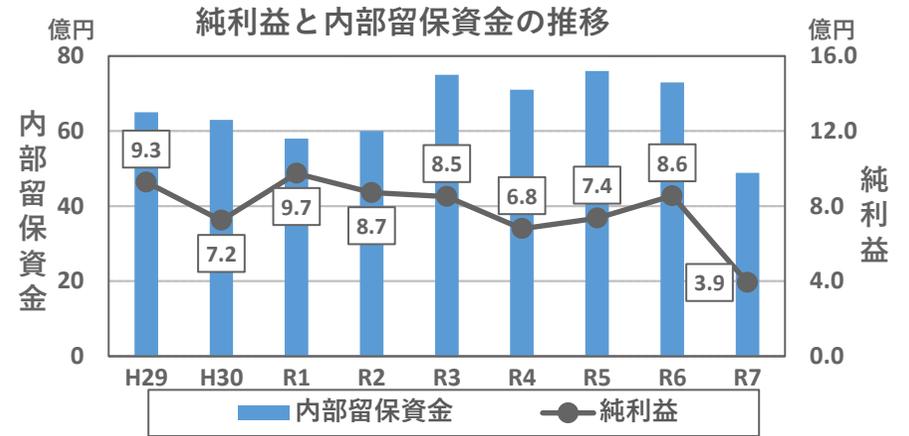
《参考資料》 経営状況の推移

※令和6年度までは決算額、令和7年度は補正後額を計上しています。

■ 電気事業



■ 工業用水道事業



☎ 083-933-4010

山口県企業局 総務課

加入者を募集しています!!

やまぐちぶちエコでんき®の

